

## 人工ホダ場内環境調査 II (7~9月)

### 1 はじめに

当センターでは、人工ホダ場と林内ホダ場及び林外の環境条件の違いを明らかにするため、1年間温湿度調査を行った。今回は、7月から9月までの測定結果について報告する。

### 2 人工ホダ場の概要

環境調査及び栽培試験を行う目的で当センター内に設置した総面積520㎡の鋼材製一部木造、高さ4.5mの施設である。遮光資材(ダイオフララまたはこもれび)の設置方向は南東―北西、設置間隔30cmである。

### 3 調査方法

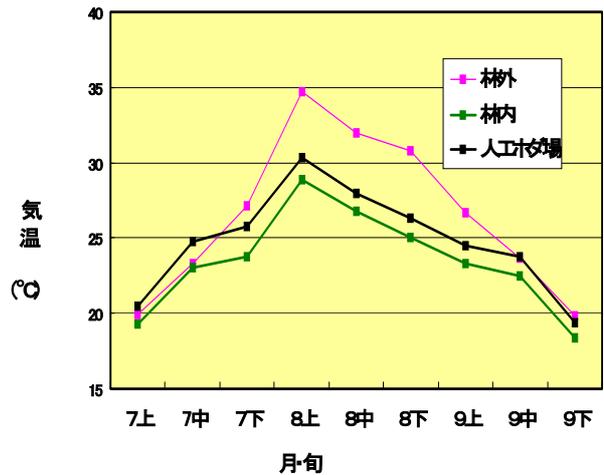
当センター内の林内ホダ場及び人工ホダ場のそれぞれで、高さ1.5mの百葉箱にサーモレコーダーを設置し測定を行った。さらに当センター内の気象観測装置によるデータを林外として比較した。調査時間は0時、3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時である。

### 4 期間中の温湿度変化について

ホダ木は高温や低湿により弱りやすいが、期間中の最高気温と最低湿度は、概ね15時に記録されていた。当該時間の旬毎の平均気温及び平均湿度は図-1及び図-2のとおりである。人工ホダ場と林内では気温及び湿度の推移が同じ傾向であることから、人工ホダ場では気温上昇及び湿度低下を抑える効果が大きい一方、気温は林内より少々高く、湿度は低く推移している。最高気温が30℃を超えた日数は図-3のとおりであり、人工ホダ場においては8月上旬に6日観測された。

### 5 7~9月の人工ホダ場活用の留意点

この時期は、日中に高温・乾燥状態になりやすいため、ホダ木が傷みやすい。気温の上昇を防ぐために、出入り口を開けるか裾上げを行い通風を良くする。また、天井部分の遮光資材の設置方向・間隔によっては直射日光が差し込むことがあるので、その場合は内部にもダイオシェード等の遮光資材を設置する必要がある。



平均7年7~9月の旬毎の15時平均気温

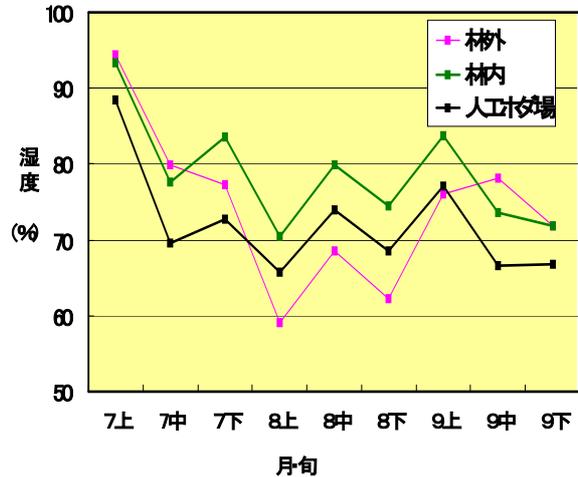


図-2 平成17年7~9月の旬毎の15時の平均湿度

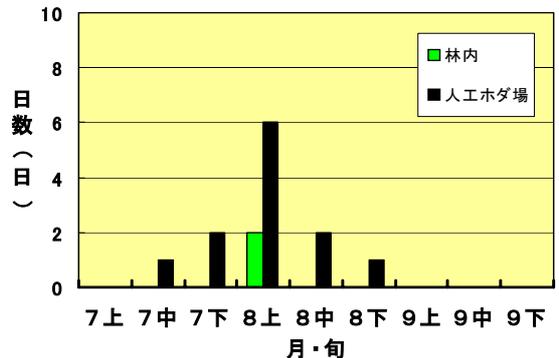


図-3 平成17年7~9月までの最高気温30℃以上を記録した日数

(担当 林産利用部 上席専門研究員 小原孝文 )

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11  
 岩手県林業技術センター  
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-698-1337  
 FAX 019-697-1410